

ゴルフ場に若者たちがズラリ 私たち全員35歳以下!



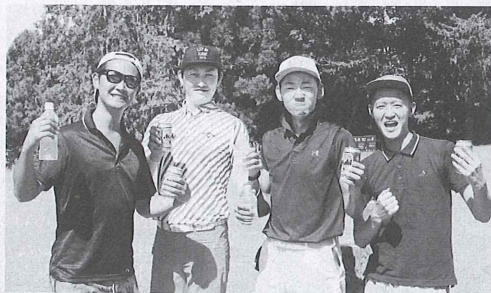
鹿沼72CCがゴルフの裾野を広げる試み

ゴルフの裾野を広げ、ゴルフ人口を増やそうと、昨年12月から35歳以下限定、年会費1万円(入会金1万円)で平日3500円、土日祝でも5500円(全日食事付&税込)でプレーができる「U35」会員を募集した鹿沼72CC。当初50名限定だったが、大好評につき追加募集をかけた7月の時点で定員200名に達し、ひと月の利用者は延べ1000人に。

これを記念して会員同士の親睦を深めようと、U35会員および35歳以下限定の「第1回アンダー35メンバースカップ」が8月26日(日)に開催され、9組33名の若いゴルフファアがコースで元気にプレーを楽しんだ。普段は年配者が多く静かなコースに、この日は若者たちの明るい声が響き渡る。プレー後には表彰式とパーティが開かれ、全員が「また参加したい」と、笑顔でコースをあとにした。

鹿沼72CCでは、ゴルフ未経験の小中学生にコースを開放し、カートでのコース体験やバターゴルフ、スナッグゴルフ、コースの池での水遊びなどを通じて、ゴルフ場とゴルフに興味を持ってもらおうという「こるふあみふえすた」を一週間前に開催したばかり。また同じグループ系列の栃木ヶ丘GCと鹿沼CCでは、この夏、夕方からクラブハウスを利用してビアホール&ビアガーデンを実施し、地元の人たちにゴルフ場に親んでもらおうとした。年会費制とはいえ、35歳以下の若いメンバーが半年で200人も入会したことは、その結果の表れなのかもしれない。もっと多くのコースで、こういった試みが広がれば、ゴルフ界の未来は明るい!

車を持たない若者が増えているが、鹿沼72CCは東武線・新鹿沼駅からクラブバスを用意。新宿、浅草からの特急もあり、電車で来た参加者は、猛暑のなか、美味しそうにビールを飲んでいた



若者向けに、特別限定屋敷メニュー「メガからあげ丼」を用意。多くの人が注文していた



若い女性も参加。ニアピン賞をゲットし、小島支配人からお菓子の詰め合わせを受け取った



当日の使用ティは「白ティ」だったが、これを「白ティペッグを使う」と勘違いして用意してきた初心者も。しかし経験者がサポートしながら、楽しいラウンドに